

総合政策部 政策課

1 組織、管理事務等の改正（令和８年度改正分）

令和８年度は、市の様々な課題の解決を図り、市民が安心して暮らし、「三田に住んでよかった」「これからも住み続けたい」と実感していただけるまちの実現に向け、着実に市政運営を進めていくことに主眼をおいた組織体制とします。

- （１）三田市未来への財政ロードマップの着実な推進 「将来の財政収支不足を解消し、これからの社会に見合ったサービスを提供するとともに、さらに未来へ投資する」というロードマップの趣旨に沿い、その取り組みを着実に進めていくための係を財政課に設置します。
- （２）こどもに関する相談支援体制の一元化 現在の子ども政策課（母子保健業務）・子ども家庭課（家庭児童相談業務）・子ども育成課（青少年育成センター業務）に分散している「こども家庭センター業務（相談支援業務）」の機能を集約し、「こども家庭支援センター」を組織として設置することで、妊産婦、子育て世帯、こどもへの切れ目のない支援をワンストップで行う体制を強化します。
- （３）市民の命を守る地域医療体制の確立 新たに設置する医療政策部において、市民 病院の指定管理者制度導入以降も急性期基幹病院として指定管理者による安定的で質の高い医療を提供する病院運営を管理するとともに、切れ目のない地域医療提供体制の確立を図るための「医療政策課」と、令和１２年度末開院に向けた新病院整備を円滑に推進するための「新病院整備課」を設置します。これにより、三田地域の急性期医療が持続的に確保され、すべての市民が安心して暮らすことができる体制とします。
- （４）インクルーシブな学校教育の推進 こども一人一人の個に応じた、切れ目のない指導・支援体制の強化を図るため、特別支援教育分野に特化した「教育支援課」を、学校教育・生徒指導や学校保健分野を所管する「学校教育課」に統合し、学校や保護者からの相談に対して、重層的・包括的かつ円滑に対応できる体制を強化します。

2 庁議等

（１）政策調整会議

政策的な判断を要する論点の事前整理の場（開催３３回、議題６４件）

（２）政策会議

各施策・事業の方針等に関する合議制による最高意思決定機関（開催２４回、

議題 4 4 件)

(3) 部長等連絡調整会議

意思決定事項について円滑に執行するための連絡調整を行う場
(開催 1 2 回)

3 まちづくり基本条例の具体化の取り組み

(1) 三田市市政への市民参加条例の運用状況

前年度(令和 6 年度)に実施した市民意見を聴く手続の実施状況について検証し、公表を行った。

ア 市民意見を聴く手続の実施状況

対象事項(7条)	市民意見を聴く手続(8条)
(ア) 市の憲章、宣言等 (イ) 市の総合計画その他市政における基本的な事項を定める計画等 (ウ) 市政における基本的な事項を定める条例 (エ) 義務を課し、又は権利を制限することを内容とする条例 (オ) 上記に掲げるもののほか、市民の生活に重大な影響を及ぼすおそれがあると市長等が認める制度、事業等	ア 附属機関 (公募・名簿委員の割合が3割以上) イ パブリックコメント (30日以上) ウ 意向調査 エ ワークショップ オ 公聴会 カ 意見交換会 キ その他の手続
＜上記の例外＞ ・市税の賦課徴収その他金銭の徴収に関するもの ・市長等の裁量の余地がないもの ・市長等の機関内部の事務処理に関するもの ・関係法令の改正に伴う規定の整備その他軽易なもの ・緊急に行わなければならないもの	

【運用状況】

	現三田市民病院跡地 活用基本方針	三田市公共施設マ ネジメント推進に 向けた基本方針～中 間見直し版～	三田市産業創造戦 略後期戦略
種別	基本的な計画	基本的な計画	基本的な計画
区分	新規	改正	改正
作業期間	令和５年度～令和 ６年度	令和５年度～令和 ７年度	令和５年度～令和 ６年度
計画期間等	－	平成３０年度～令 和１０年度	平成３１年度～令 和１０年度
市民意見を 聴く手続	パブリックコメント 意見交換	パブリックコメント 意向調査	パブリックコメント 意見交換

	三田市こども計画 (第３期子ども・子 育て支援事業計画)	三田市人権施策基 本方針(改定案)
種別	基本的な計画	基本的な事項を定め る条例
区分	新規	改正
作業期間	令和５年度～令和 ６年度	令和６年度
計画期間等	令和７年度～令和 １１年度	－
市民意見を 聴く手続	附属機関 意向調査 ワークショップ パブリックコメント	附属機関 意向調査 パブリックコメント

イ 市政参加市民名簿の登録状況と活用実績

<名簿登録状況>

	発送数	登録者数				名簿登載期間 (条例上２ 年以内)
		総数	男	女	備考	
令和６年度	３，０００	２５９	１５４	１０５	令和８年 ２月末時点	令和８年 ８月末まで
令和７年度	３，０００	２１６	１３１	８５	令和８年 ２月末時点	令和９年 ８月末まで
計		４７５	２８５	１９０		

【市政参加市民名簿活用状況】（令和 6 年度・令和 7 年度）

附属機関等に選任 5 4 人

ワークショップ等 5 件

ウ まちづくり提案

0 件

(2) 行政評価

前年度（令和 6 年度）に市が実施した事業内容や結果をもとに、第 5 次三田市総合計画基本計画に規定する全 2 5 施策及びデジタル田園都市国家構想交付金を活用する事業について事後評価を行った。

ア 対象

- ・第 5 次三田市総合計画基本計画に規定する施策（2 5 施策）
- ・デジタル田園都市国家構想交付金を活用する事業（3 事業）

イ 手法

(ア) 市の実施機関による内部評価

(イ) パブリックコメント ※意見 0 件

(ウ) 行政評価委員会（附属機関）による外部評価

4 市民意識調査

(1) 目的

市民生活の基本的な意識を把握し、政策形成、施策運営の基礎資料とする。

(2) 調査の内容

ア 調査対象

市内に在住する 1 8 歳以上の市民 3 , 0 0 0 人

イ 抽出方法

住民基本台帳から地域ごとの人口分布などを考慮して無作為に抽出

ウ 配付方法

郵送

エ 回収方法

郵送（インターネットによる回答も可）

オ 調査時期

令和 7 年 6 月 9 日～7 月 1 1 日

カ 項目別調査

(ア) 第 5 次三田市総合計画の成果指標の進捗や今後の居住意向について

キ 調査結果

(ア) 設問数

全 2 7 問

(イ) 標本数

2, 992 件

(ウ) 有効回収数

1, 424 件 (47.6%)

※郵送 946 件、インターネット 478 件

秘書課

1 市長、副市長の秘書

- (1) 市長、副市長の日程調整及び随行
- (2) 市公式ホームページ「市長のページ」への日程、メッセージ等の掲載

2 渉外及び交際

(1) 三田市議員待遇者

三田市議会議員待遇者規則により、2期8年（通算）以上議員経験のある者に対し議員待遇者章を贈呈し、規則に定める待遇を行う。

三田市議員待遇者数 20 名

(2) 交際費（令和7年度執行状況）

内 訳	件 数	金 額
慶 祝	2 件	10,000 円
弔 慰	8 件	104,800 円
贈答・記念品	0 件	0 円
接 遇	19 件	63,651 円
会 費	10 件	56,090 円
計	39 件	234,541 円

3 市の儀式、叙勲、褒章及び表彰

(1) 市制記念式典

令和7年度は開催なし。なお市制施行60周年（平成30年）までは、毎年7月1日の市制施行記念日に記念式典を開催し、あわせて三田市表彰の贈呈式を行っていたが、事業の見直しにより以後は節目の年に式典を行うこととした。

(2) 栄典（叙位、叙勲及び褒章）

地方自治功労に係る受章候補者の上申（春秋叙勲、死亡叙勲ほか）等を行う。

ア 叙勲・叙位

(ア) 春秋叙勲 1 件（元市議 北本 節代）

(イ) 死亡叙勲・叙位 0 件

イ 褒章 なし

(3) 三田市表彰、さんだチャレンジャーズアワード

三田市表彰規則に基づき、三田市表彰選考会を経て受賞者を決定し、表彰状及び副賞を授与する。平成30年度から市制施行60周年を記念し、新たな表彰制度「さんだチャレンジャーズアワード」を創設。

令和7年6月2日～令和10年3月31日までネーミングライツパートナーとして株式会社PILLARと協定を締結。

表彰選考会：令和 7 年 5 月 1 4 日（水） 1 3 時 3 0 分～（市長公室）

表彰：感謝と飛躍へのつどい

令和 7 年 7 月 1 日（火） 1 6 時 3 0 分～（本庁舎 3 0 2 会議室 A）

令和 7 年度三田市表彰

PILLAR2026 さんだチャレンジャーズアワード受賞者（敬称略）

表 彰	功 労 ・ 分 野	個 人	団 体
三田市さつき賞	自治	今村 進	
	自治	中井 宏	
	福祉	福田 恵美子	
	福祉		話し相手ボランティア 「ひだまり」
	消防・防災・ 防犯		さんだ防災リーダーの会
PILLAR2026 さんだ チャレンジャーズ アワード	スポーツ	東 秀太	
	スポーツ	猪熊 勇之介	
	スポーツ	岡田 蒼空	
	スポーツ	齋藤 朱里	
	スポーツ	西岡 瞳	
	スポーツ	濱野 隼大	
	スポーツ	HINATA. M	
	スポーツ	松下 美咲	
	スポーツ		兵庫県立三田祥雲館高等学校 科学部 Robotics 班
	スポーツ	山名 諒	
	文 化	板谷 由菜	
	文 化	河合 美波	
	文 化	萩原 李帆	

4 市長会及び副市長会

令和 7 年度に市長及び副市長等が出席した主な会議

(1) 全国市長会／総会：年 1 回、全国都市問題会議：年 1 回

6 月 4 日	第 9 5 回全国市長会議（通常総会） （東京都・ホテルニューオータニ）
---------	---

(2) 近畿市長会：年 1 回

5 月 1 5 日	第 1 3 2 回近畿市長会総会（姫路市・ホテル日航姫路）
-----------	-------------------------------

(3) 兵庫県市長会／総会：年２回

４月２４日	第１回総会（神戸市・神戸ポートピアホテル）
１０月　２日	第２回総会（芦屋市・芦屋モノリス）

(4) 阪神・丹波市長会／年１回

１１月２６日	阪神・丹波市長会（伊丹市・西洋懷石アンシャンテ）欠席
--------	----------------------------

(5) 兵庫県副市長会／年２回

４月　４日	第１回副市長会（伊丹市・伊丹市役所）
８月２６日	第２回副市長会 （神戸市・ラスイト神戸オーシャンズガーデン）

(6) 阪神・丹波副市長会／年２回

７月３０日	第１回副市長会（伊丹市・伊丹市役所） 警報発令のため中止　書面会議
１月３０日	第２回副市長会（伊丹市・伊丹市役所）代理出席

(7) 県・市町懇話会／年２回

４月２１日	第１回県・市町懇話会（神戸市・ラッセホール）
１月１９日	第２回県・市町懇話会（神戸市・兵庫県庁）

5 名誉市民

三田市名誉市民条例に基づき、公共の福祉の増進他の功績が卓絶する者に対して、議会の同意を得て市長が決定し贈る称号である。三田市名誉市民証及び三田市名誉市民章をあわせて贈呈する。また、市長は特に親善その他の目的で市の賓客として来訪した者に対し、三田市特別名誉市民の称号を贈ることができる。三田市特別名誉市民証及び記念品をあわせて贈呈する。

(1) 三田市名誉市民 受章なし

(2) 三田市特別名誉市民 受章なし

(3) 過去の受章者

称 号	年 度	受 章 者
特別名誉市民	平成１１	コリーン・カイク氏 （オーストラリア・ブルーマウンテンズ市）
		ジェリー・ウィリアムズ氏 （アメリカ合衆国・キティタス郡） ※平成２５年７月逝去
		宋奉奎氏（大韓民国・北済州郡、現済州市） ※令和５年１２月逝去

広報広聴課

1 広報誌の発行

広報誌「広報さんだ」を発行する

(1) 広報誌「広報さんだ」の発行状況

ア 発行日 : 毎月1日に定期発行(年間12回)

イ 内 訳 : 32ページ(全頁カラー 6回)

36ページ(全頁カラー 6回)

ウ 規 格 : A4判冊子型

エ 発行部数 : 48,800部(R8.3月現在)

オ 全戸配布数 : 47,393部(R8.3月現在)

※配布については、三田市シルバー人材センターへの宅配委託事業で平成25年度から実施

(2) その他の媒体を使った広報誌の配布

ア 市ホームページ

広報誌を掲載(PDFファイル)

イ 声の広報

音訳ボランティア「ともしび」により、毎号の内容をCDに吹き込み、視覚障害者へ声の広報として届けている。

ウ 「ユニバーサル」広報

市政情報やくらしの情報などを動画(音声・字幕・手話あり)で発信。市ホームページに掲載するほか随時Facebookへの投稿を行う。また、上記イの音声データを市ホームページに掲載(R1.8~)。下記エも「ユニバーサル」広報の一環として導入。

エ 多言語対応アプリ「カタログポケット」

広報誌「広報さんだ」を日本語に加え9言語の音声読み上げ、自動翻訳するアプリを活用して配信。(R2.9~)

オ マチイロ

スマートフォンで各自治体の広報誌やニュースを閲覧できるアプリに、広報誌を掲載(PDFファイル)。

カ マイ広報誌

自治体等が発行する広報誌を記事ごとにデータ化(文字情報のみ)し、インターネットで無料配信するサービスに、広報誌を掲載(PDFファイル)。

キ HYOGO ebooks

兵庫県内の電子書籍を無料で閲覧できる、地域特化型電子書籍ポータルサイトに、広報誌を掲載(PDFファイル)。

(3) 広報モニター制度の活用

人数：公募の市内在住・在勤・在学の１６歳以上　４９２人（Ｒ８.３月現在）

内容：広報誌に対するアンケート回答

２　ホームページ等を活用した広報

（１）「ホームページ」

令和４年３月３１日に、「知りたい情報を見つけやすく」をコンセプトに三田市公式ホームページをリニューアル。最新情報を分かりやすく発信、三田市の魅力を市内外に向けてＰＲ。トップページに「サイト内検索」や「簡単手続き検索ナビ」なども配置。

アクセス数：４，７８３，５１３件／年、３９８，６２６件／月平均

（２）「フェイスブック」

平成２３年１０月から市公式Facebookを開設。市ホームページの補完的位置付けとし、イベント情報や動画など、交流促進につながる魅力ある情報を発信している。災害時などは、緊急情報なども発信する。

（３）「三田市ＬＩＮＥ公式アカウント」

令和３年１０月１８日から「暮らしに役立つ情報を届ける」というコンセプトのもと、緊急情報の一斉通知や、利用者の属性や希望する情報に応じたプッシュ型の情報配信で活用。

友だち登録者：１７，１４３件（Ｒ８.３.３１現在）

３　広報掲示板を活用した広報

公共施設や公園、主要各駅ターミナルに設置した広報掲示板（３２カ所）に、市のイベントや啓発ポスターなどを掲示している。

貼付ポスター：年間２０種類

４　新聞やテレビ・ラジオなどを通しての広報

（１）市長記者会見（１０回）、記者発表

（２）週間行事予定表の配布

（３）市政記者クラブ、テレビ、ラジオの取材協力

５　その他の広報

ニュースダイジェストの作成

６　案内地図「わがまちさんだ」の配布（Ｒ４.１１月発行）

市内案内用地図と三田の魅力や取り組みの紹介、市内７事業者の有料広告を掲載

（１）発行部数：２０，０００部

（２）活用：転入者に配布、公共施設の窓口で希望者に配布、各市視察・会議等で配布

7 市政刊行物の発行状況の把握

市政刊行物の発行状況等を把握するため登録番号を付し、効果的な広報の推進を図る。

- (1) 登録件数：93件
- (2) 登録内容：カード類1件、広報誌6件、小冊子18件、書籍3件、
チラシ25件、ポスター18件、リーフレット22件、
ステッカー0件

8 市政出前講座

市民の要請により市職員が出向き、市政のしくみや制度、手続き、事業などをわかりやすく説明し意見交換をする中で、市民の市政理解や関心を高め、行政と市民の協働のまちづくりを推進する。

〔事業概要〕

- (1) テーマ数：38項目
- (2) 開催方法：市民主体の講座として開催。市民が各講座の担当課に
申し込み、調整のうえ開催
- (3) 開催実績：59回 1,289人が参加
- (4) 主な受講テーマ：「いざという時に備えて」、「消費者トラブルを
知って、被害を防ごう」、「健康講座」など
- (5) 主な受講団体：生涯学習カレッジ関係、地縁団体(自治会、老人会)
など

9 市民の声の受付・処理

(1) 陳情・要望

ア 種別受理件数

種 別	自治会 関係	その他 団体	市外団体	議会会派	合 計
件 数	1	12	3	1	17

イ 地区別受理件数

地区名	三 田	三 輪	広 野	小 野	高 平	藍	本 庄	フ ラ ワ ー	ウ ッ デ イ	カ ル チ ヤ	他 市 内 そ の 他	市 外	そ の 他	合 計
件数	0	2	1	0	0	0	0	1	3	0	6	4	0	17

(2) 市長への手紙（わたしの提案）

ア 年度別件数経過

年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
件 数	2 8 3	2 6 4	2 2 6	3 6 0	4 1 1

イ 令和 7 年度中の提案等の受理件数

(ア) 提案はがき	1 0 0 件
(イ) わたしの提案コーナー(市ホームページ)	1 5 4 件
(ウ) その他	1 5 7 件

1 0 オンブスパーソン

(1) 事務局への制度に関する問い合わせ 4 件(窓口 1 件・電話 1 件・メール 2 件)

意見等申立ての相談	3 件	内容が意見等の申立てに馴染むかどうかの確認。調査しない事項の範囲 など
制度に関する質問	1 件	
制度に対する意見・批判	0 件	

(2) 意見等の申立て 0 件(調査実施 0 件・調査しない事項 0 件)

内 容	件 数
① 申立ての趣旨に沿ったもの(勧告・意見表明)	0
② 申立ての趣旨に一部沿ったもの(勧告・意見表明)	0
③ 申立ての趣旨の当否まで判断する必要がなく、事件が終了したもの	0
④ 申立ての趣旨に沿えなかったもの	0
⑤ 継続中	0
調査しない事項(すでに処理が終了している事項)に該当したもの	0
合 計	0

移住定住促進課

1 産官学地域連携推進事業

学生（若者）、事業者、大学、地域等が連携してまちづくりに取り組むための仕組みづくりを行った。

(1) 学びのまち・三田推進事業

市内外の学生が三田のまちに集い、学生の自由な発想に基づいた自主的な活動が活発に行われる「学生が成長できるまち三田」を目指した事業を実施。

ア 三田市学生まちづくり活動費補助

採択団体 : 4 団体

補助金 : 254,000 円

イ 三田ガクチカ FES（カフェスタイル交流会・三田学生サミット）

企画・実施 : 一般社団法人イヒ・こみんか学生拠点

日時 : 令和 8 年 3 月 15 日（日）

場所 : ウッディタウン市民センター

発表団体 : 32 団体（うち、カフェ協力 1 団体）

参加者 : 134 人（中学生・高校生 41 人、大学生 32 人、一般 61 人）

ウ 若者のまちづくり検討会議

本市の若者のまちづくり施策について議論し、若者のまちづくりの機運を醸成することを目的として、検討会議を設置。

日時 : 令和 7 年 10 月 1 日（水）、令和 7 年 11 月 7 日（金）、令和 7 年 12 月 12 日（金）

参加者 : 40 人

(2) 地域活躍人材育成プログラム（三田スモカモス・プロジェクト）

市内の企業等が抱える課題解決を通じて大学生が地域社会との接点を持ち、大学生自身が三田市を舞台に「本当にやりたいこと」を発見・実現する方法を考え、実践に導くことにより、若者が地域に関わり三田に愛着を持つことで定住・Uターン志向の醸成につながるモデルの確立を目指す。

参加人数 : 33 人（前期 : 12 人／後期 : 21 人）

協力企業 : 6 社

ア ワークショップ

日程 : 前期 : 令和 7 年 6 月 7 日（土）、7 月 5 日（土）、9 月 13 日（土）、後期 : 10 月 26 日（日）、11 月 15 日（土）、12 月 13 日（土）

イ 学生の市内企業 活動体験（前期 : 8～9 月）

ウ 成果発表会

日程 : 前期令和 7 年 9 月 27 日（土）、後期令和 8 年 1 月 24 日（土）

(3) 青少年健全育成事業（二十歳を祝う会）

日時場所 : 令和 8 年 1 月 11 日（日）郷の音ホール

対象 : 平成 17 年 4 月 2 日～平成 18 年 4 月 1 日生まれの者

対象人数 : 989 人 参加者 : 763 人

※従来通りの1部制で実施。

その他：企画・運営のアイデアとサポートを求めるために「二十歳を祝う会サポーター」を募集。一部企画の検討や代表あいさつ等を行った。

2 移住UIJターン促進事業

- (1) 移住ポータルサイト（さんだうえるかむサイト）の運営
- (2) 移住相談窓口「Sanda 住まいる」

三田を広くアピールし、新たな移住定住ニーズに応えるため、一元的な移住定住相談窓口を設置している。令和7年度は372件の相談（窓口・電話・オンライン相談）があった。

- (3) さんだ住まいるチームメンバー

三田市に転入（移住）を希望する方や関心をもっている方の相談員として移住キャンペーン等に参加するとともに、主に市外への広報員として市の魅力や移住に関する情報の発信を行い、移住・交流の促進を図る。

構成：三田の魅力を積極的に伝えたい方 37人（新規11人、継続26人）

任期：令和7年9月～令和8年8月

活動実績：意見交換会（オンライン、対面） 実施日：令和7年6月1日（日）

オンライン移住相談対応、移住フェアへの出展、オーダーメイドさんだツアー対応、三田市移住定住施策へのアドバイス

- (4) 移住促進

ア 出張移住相談、首都圏でのPR強化

- ① 令和7年5月17日（土）出張相談会 @ふるさと回帰支援センター・大阪
参加人数：5人
- ② 令和7年5月30日（金）三田市移住セミナー（オンライン）
参加人数：7人
- ③ 令和7年7月10日（木）市町連携オンライン移住相談会
参加人数：4人
- ④ 令和7年7月12日（土）出張相談会 @ふるさと回帰支援センター・大阪（※猪名川町と合同開催）
参加人数：2人
- ⑤ 令和7年7月19日（土）おいでや！いなか暮らし移住フェア@天満橋 OMM ビル
参加人数：21人
- ⑥ 令和7年11月2日（日）出張相談会 兵庫～五国～移住・交流フェア @東京交通会館
参加人数：49人
- ⑦ 令和7年11月15日（土）兵庫県移住セミナー（オンライン）
参加人数：17人
- ⑧ 令和7年12月6日（土）兵庫～五国～移住・交流フェア @難波御堂筋ホール
参加人数：42人

イ 連携・共同出展

令和7年7月25日（金）タキロンシーアイ出張説明会

場所：タキロンシーアイ株式会社 滋賀工場

参加人数：33人

(5) 移住者交流会

ア 「さんだ住まいるフェスタ」 @神戸三田アウトドアビレッジ TEMIL

日程：令和7年9月6日（土）

内容：三田市への移住を考えている「移住検討者」、県外や市外から引っ越してきた「移住者」、三田市に住み続けている「三田市民」の3者交流会を開催。

参加人数：85人

(6) オーダーメイドさんだツアー

三田市への移住を検討されている方に、個々のニーズに合わせたオーダーメイド型の移住体験ツアーを実施。

件数：36件

(7) お試し移住×保育留学事業

三田市外から三田市に移住を検討している人を対象に、株式会社 HESTA 大倉所有のモデルハウスを活用したお試し移住体験を提供することにより、生活環境や都内への距離感などをはじめとする三田市への理解度を高めてもらい、将来の移住へとつなげる。

問合せ件数	申込件数	体験者数	移住者数
38件	17件	12組 37人	4組 11人

(8) 魅力発信

SNS に訴求力のあるショート動画の作成やインフルエンサー等との協働で、移住定住のインスタグラムに投稿。

フォロワー数：1,313、最大PV数：73,618（令和8年3月31日時点）

(9) NPO 法人空き家相談センターとの連携

良質な住宅ストックが世代を超えてつながることで、オールドタウン化抑制と農村部の活性化を図るため、空き家・中古住宅(住宅ストック)の活用を推進を図る。

ア 空き家流通会議 12回（毎月第2火曜日）（対面、書面、オンライン）

イ 住まいを考えるセミナー

① 日程：令和7年7月26日（土）

場所：有馬富士共生センター 大会議室

参加人数：18人

個別相談件数：2件

② 日程：令和7年11月25日（火）

場所：まちづくり協働センター 講座室

参加人数：8人

その他：高齢者支援課いきがい応援セミナー共催。個別相談なし。

③ 日程：令和8年2月13日（金）

場所：藍市民センター 研修室

参加人数：4人

個別相談件数：1件

ウ 住まいを考える出張セミナー

① 日程：令和8年2月12日（木）

場所：総合福祉保健センター

参加人数：4人

② 日程：令和8年2月22日（日）

場所：母子（山の峰会館）

参加人数：26人

エ 住まいの相談会

日程：令和7年4月16日（水）以降、毎月第3水曜日

年間相談件数：15件

(10) 三田移住支援事業補助金

兵庫県と共同で国の交付金を活用した、東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）からの移住を伴う就業・起業に対する補助金。

対象：東京圏から三田市へ移住し、該当の中小企業へ就職した者、起業した者等

補助額：世帯の場合は100万円、単身の場合は60万円

実績：4件（4,500,000円）

(11) うえるかむ三田支援事業補助金

三田市への移住を検討するために、三田市に宿泊する者に対する補助金。

対象：兵庫県外から、移住を目的に三田市を訪問する者

補助額：1人1泊につき10,000円（上限1泊、1世帯2人まで）

実績：9件（115,769円）

(12) 住み替え支援事業補助金

市内の指定地域で新築・中古住宅を購入する若年世帯等への補助金。

補助額：最大50万円（基礎上限額10万円。市外転入の場合10万円、市外化調整区域の場合10万円、市内企業に正規従業員として雇用されている場合20万円加算）

実績：141件（35,000,000円）

(13) 結婚新生活支援補助金

市内で新生活をスタートさせる新婚世帯のスタートアップ費用を支援。

補助額：夫婦ともに婚姻時の年齢が29歳以下の場合、最大60万円

夫婦ともに婚姻時の年齢が39歳以下の場合、最大30万円

実績：21件（5,830,000円）

(14) 婚活支援事業補助金

結婚を望む方への多様な出会いの機会を創出する事業を支援。

補助額：最大5万円

実績：0件（0円）

(15) さんだ出会い・結婚応援プロジェクト

結婚をまだ意識していない人、少し意識し始めた人、結婚を考え始めたカップルなど階層を分けた事業に取り組みを実施。

ア 三田市出会い・結婚支援事業

①恋するピザ時間～チーム対抗、一番ウマイピザはどれだ！inさんだ～

日程：令和7年10月11日（土）参加者：37人

②婚活をもっと楽しく！今日から使えるスキルアップセミナーinさんだ

日程：令和7年11月16日（日）参加者：16人

③恋するアバター、心はリアル。メタバース婚活 inさんだ

日程：令和7年12月13日（土）参加者：13人

イ 若者のためのワークライフマネジメント座談会

若者が仕事とプライベート、結婚、子育てに感じる漠然とした不安を解消し、将来のライフスタイルを具体的に描けるようサポートすることを目的とし、市内企業に勤務している若者などを対象に座談会を開催。

日程：令和7年7月11日（金）、11月5日（水）、令和8年2月21日（土）

参加者：27人

公民連携推進課

1 産官学地域連携推進事業

企業や高等教育機関等との対等なパートナーシップのもと、各主体が有する豊かな人的、知的、物的資源を地域社会の課題解決に活かし、公民連携による取り組みを進めた。

(1) 企業等との連携

ア 主な連携先

- ・イオン株式会社
- ・神姫バス株式会社
- ・生活協同組合コープこうべ
- ・株式会社みなと銀行
- ・大和リース株式会社（令和8年2月6日協定締結）

イ 食品無償支援

昨年度に引き続き、株式会社フジ、アイリスオーヤマ株式会社から期限前食材等の提供を受け、市内子ども食堂へ食材支援を行った。

(2) 高等教育機関との連携

連携協定に基づき、連携・協力事業を14件実施した。

ア 関西学院大学

① 授業支援

- ・「情報化社会と人間」：
三田市をフィールドに、学生が地域課題の解決策を考える総合政策学部等1～2回生対象の授業に当課職員が助言者として参加。
- ・「政策コンサルティング演習」：
三田市をフィールドに、学生が地域課題を発見し、課題解決のための調査研究を進め、三田市に政策提案を行う。当課職員が助言者として参加。

② その他、市との連携・協力事業 12件

③ オープンセミナー

・春季

日時：令和7年5月24日（土）、6月14日（土）、7月5日（土）

場所：まちづくり協働センター 多目的ホール

参加人数：417人

・秋季

日時：令和7年10月4日（土）、11月1日（土）、11月29日（土）

場所：まちづくり協働センター 多目的ホール

参加人数：327人

イ 湊川短期大学

「連携協力協定」に基づき、連携・協力事業4件を実施した。

① 市民大学 三田市と湊川短期大学の共催による市民向け講座

日時：令和7年9月2日（火）

場所：湊川短期大学 3号館351教室

参加人数：20 人

② その他、市との連携・協力事業 10 件

ウ その他の高等教育機関との連携事業数

① 神戸親和大学（1件）

② 神戸医療福祉専門学校三田校（4件）

③ 兵庫教育大学（6件）

④ 神戸大学（11件）

(3) 三田市産官学連携推進事業助成金

大学等における本市の地域課題の解決に資する研究活動やその成果の社会実装に向けた取り組みに必要な経費に対して助成した。

① 申請件数 3件

② 助成件数 3件 計3,000,000円 (1,000,000円/1件あたりの助成上限)

2 三田市まなびと交流・共創施設整備事業

「学び」と「交流」をテーマに、学び直しやスキルアップ、多世代の交流拠点として、三田駅前の賑わいにも資する施設となるよう、令和9年6月のオープンに向けた整備を進めた。

(1) 財産取得

・売買契約書の締結による床の取得（令和7年12月23日日本契約）

(2) 内装工事等

・実施設計業務（令和7年6月25日～令和8年1月15日）

(3) 施設運営等（指定管理者の選定）

・三田市まなびと交流・共創施設条例制定（令和7年12月23日公布）

・総合政策部指定候補者選定委員会の開催（第1回令和8年2月20日、第2回令和8年3月27日）

3 SDGsの推進

2015年に国際連合総会で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）が目指す「誰ひとり取り残さない」「持続可能」「パートナーシップ」という理念は、第5次総合計画によるまちづくりの理念と共通しており、SDGsの達成にもつながる様々な取り組みを進めている。令和5年度には、内閣府から「SDGs未来都市」に選定された。

(1) 市民へのSDGs啓発活動

ア SDGs 関連イベントへの参画

・Friendship Day in SANDA

実施概要：人権・国際交流をテーマとしたSDGsクイズラリーを実施（延べ約60名参加）

イ 「わたしのSDGs宣言」

SDGsの視点で日常を振り返り、生活の中で自ら実践したい取り組みを宣言する「わたしのSDGs宣言」を、業務アプリ構築サービスを活用して実施している。

・投稿数33件（令和8年3月31日時点）

ウ SDGs未来都市ポータルサイトの立ち上げ

エ 市政出前講座「SDGsの輪を広げよう」の実施

- ・ 県立有馬高等学校（令和7年6月12日、参加人数27名）
- ・ 市立松が丘小学校（令和7年11月13日、参加人数22名）

4 ふるさと納税

ふるさと納税制度を活用し、寄附のお礼として本市ならではの地場産品を返礼品として贈ることで、本市の魅力を全国へ向けて発信している。また、ふるさと納税型クラウドファンディングを活用し、全国的に特色ある事業や三田ならではの事業を中心に、本市の魅力発信をしている。

【令和7年度全体実績】

寄附実績 285,838,400円（9,025件）

お礼の品 427品、応援事業者 87事業者

(1) ありがとう！三田っ子応援寄附

受け入れた寄附金は、「ありがとう！三田っ子応援基金」に積み立て、子どもの教育、子育て支援事業等へ活用している。

① 寄附状況 270,117,400円（8,454件）

(2) ふるさと納税型クラウドファンディング

受け入れた寄附金は、各々の事業促進のために活用している。

① 寄附状況 15,721,000円（571件）

② 寄附内訳

事業名	件数	金額
ふるさと三田を愛し、夏の思い出として心に残るまつりにしたい！	155 件	4,610,200 円
人も猫も幸せな三田市をめざして『TNR活動推進プロジェクト』	45 件	1,065,000 円
三田で見られる桜を守り続けたい！三田さくら物語プロジェクト	81 件	1,756,400 円
地域医療の未来を担う、医療人材を育てるプロジェクトを応援しよう！	130 件	3,332,400 円
【新病院整備事業】NICU（新生児集中治療室）整備プロジェクト	160 件	4,957,000 円

5 企業版ふるさと納税

国が認定した地方公共団体が行う地方創生プロジェクトに対し、企業が寄附を行った場合に、税額控除の優遇措置（「地方創生応援税制」）が受けられる制度を活用し、企業から寄附を募り、地方創生の取り組みに活用している。

【企業版ふるさと納税寄附状況】

年度	寄附件数	寄附額
令和2年度	2件	376,328円
令和3年度	7件	5,300,000円
令和4年度	6件	4,600,000円
令和5年度	13件	5,500,000円
令和6年度	14件	7,200,000円
令和7年度	現金 24件	13,500,000円
	物品 1件(車両3台)	(価額：5,742,000円)